

第6回 裁判員制度・裁判員の守秘義務		
事前学修	裁判員制度の概要を知る。裁判員制度の内容（人選方法、辞退など）を知る。（事前学習30分）	
事後学修	裁判員制度の内容を知る。また、裁判員制度の評決方法や守秘義務について理解する（事後学習90分）	
Ⅲ 人の誕生		
第7回 “人” とは何か		
事前学修	法律上の「人」の種類を知る。（事前学習30分）	
事後学修	権利能力とは何かを理解する。（事後学習90分）	
第8回 嫡出・親権・後見について		
事前学修	親権制度とは何か知る。（事前学習30分）	
事後学修	成年後見制度の内容と問題点や親権制度の改正について理解する。（事後学習90分）	
第9回 未成年者と法		
事前学修	少年法の目的を知る。（事前学習30分）	
事後学修	少年法の目的と内容を理解し、成人年齢変更に伴う18・19歳の取り扱いについて理解する。（事後学習90分）	
第10回 少年法と現代社会		
事前学修	少年審判とは何か調べる。（事前学習30分）	
事後学修	実際の少年審判がどのようにして行われるか理解する。（事後学習90分）	
第11回 子供の人權条約について		
事前学修	子どもの権利条約について概要を知る。（事前学習30分）	
事後学修	子どもの権利条約の内容を理解し、子ども特有の権利があることを理解する。（事後学習90分）	
Ⅳ 家族と法		
第12回 婚姻の効力		
事前学修	婚姻の法律的效果を知る。（事前学習30分）	
事後学修	婚姻の法律的效果を理解する。女性の再婚禁止期間の変遷を知る。（事後学習90分）	
第13回 夫婦別氏制度		
事前学修	日本では夫婦の氏はほとんどが夫の姓になっている現状を知る。（事前学習30分）	
事後学修	夫婦同姓のメリットデメリットを理解する。（事後学習90分）	

第14回 夫婦の財産関係		
事前学修	夫婦の婚前財産契約とはなにか知る。（事前学習30分）	
事後学修	夫婦の婚前財産契約、共有財産、特有財産について理解する。（事後学習90分） 配偶者居住権、特別寄与制度についても理解する。	
第15回 離婚の効力		
事前学修	離婚の法的効力を知る。（事前学習30分）	
事後学修	離婚に関する調停や審判について理解する。 子がいる場合の養育費の問題について理解する。（事後学習90分）	
試験等		
第16回目に定期試験 持ち込みなし（教場にてスマホやパソコンによるオンライン提出）を実施する。		
試験のフィードバックの方法		
定期試験終了後、解答・解説します。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞ 『現代法学入門』（有斐閣双書），伊藤正巳 加藤一郎，有斐閣 ISBN-13：978-4641112568		
＜参考書＞すでに六法を所有している場合は購入不要。 『デイリー六法』，三省堂，2025年版 ISBN-13：978-4385158815		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし。		
オフィスアワー		
授業の前後に質問を受け付けます。		
連絡先		
Email:s8001@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
すでに六法を所有している場合は、再度購入する必要はありません。 課題やレポート提出のために、manaba folio/Google classroom/Wordが使えるようにしておきましょう。		
授業中はノートの取り方に工夫をしてください。特に説明なども書き加え復習しやすいノートの作成を希望します。試験前にまとめて復習しようとする等多岐にわたる内容を網羅することが難しいため、その都度配布されたプリントやノートの内容を見直し定着をはかるように努めてください。また、日常生活の中でニュースや新聞、ネットなど関連する記事に注目してください。		

わたしたちの社会と科学				単位数	2単位
授業コード	12377	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	小林 謙一				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
SDG's (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、国内外で積極的な取り組みが行われている。一方、ICTの進化等により、社会・経済の構造が日々大きく変化する「大変革時代」が到来したことに対応すべく、政府は科学技術イノベーション推進の必要性を説いている。その中で、日本が目指すべき未来社会の姿としてSociety 5.0という概念が提唱され、浸透されつつある。加えて、我々が生きていく上で大切の「食」についてもさまざまな技術革新が進んでおり、我々の生活にも大きな変容がもたらされようとしている。これらは、取りも直さず、私たちを取り巻く社会が、高度な科学技術を基盤にしていることを意味している。したがって、社会と科学の関係性を理解していくことが、これからの社会を生きていくためには必須のことと言える。 そこで、本講義では、農学、工学、医学、栄養学、そして情報学などの科学的視点から、現在試みられている取り組みや将来への展望について考えてみたい。本講義によって、私たちの生きている社会的諸問題とその解決策について科学的に説明でき、そして未来への展望について考察できるようになることを目指している。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	SDG'sについて正確に説明できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
2	Society 5.0の概念について正確に説明できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3	食の「未来」について、正確に説明できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4	本講義では、社会的課題の問題点や解決に至るための、基礎的な科学的情報を理解できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
5	社会の問題点、課題点、そしてそれらの解決策について説明できるようになる。			思考・判断・表現力/主体性	
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	復習課題 (manaba) 45%			1/2/3/4/5	
2	最終レポート 55%			1/2/3/4/5	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：オリエンテーション・・・本講義の概要について正確に理解する					
事前学修	本科目のシラバスを熟読し、本科目の内容と到達目標を予め理解しておくようにする。				120分程度
事後学修	復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。				120分程度
第 2 回：SDG's (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) の基礎・・・SDG'sの概要について説明できるようにする					
事前学修	授業やmanabaを通して、SDG's (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) の基礎に関して事前に調べていた方がよい課題を与えて、事前に調べておくこととする。				120分程度
事後学修	SDG's (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) の基礎に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。				120分程度
第 3 回：目標2「飢餓をゼロに目標」についての取り組み・・・食品ロスや自給率の向上に関する取り組みについて説明できるようになる。					
事前学修	授業やmanabaを通して、目標2「飢餓をゼロに目標」についての取り組みに関して事前に調べていた方がよい課題を与えて、事前に調べておくこととする。				120分程度
事後学修	目標2「飢餓をゼロに目標」についての取り組みに関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。				120分程度
第 4 回：目標3「すべての人に健康と福祉を」についての取り組み・・・予防医学や食の観点からの取り組みについて理解できるようになる					
事前学修	授業やmanabaを通して、目標3「すべての人に健康と福祉を」についての取り組みに関して事前に調べていた方がよい課題を与えて、事前に調べておくこととする。				120分程度
事後学修	目標3「すべての人に健康と福祉を」についての取り組みに関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。				120分程度
第 5 回：目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」・・・暮らしを支える強靱（レジリエント）なインフラの構築や技術革新について説明できるようになる					
事前学修	授業やmanabaを通して、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」について事前に調べていた方がよい課題を与えて、事前に調べておくこととする。				120分程度
事後学修	目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。				120分程度

第 6 回：目標12「つくる責任つかう責任」についての取り組み・・・循環型経済に関する取り組みなどについて理解できるようになる		
事前学修	授業やmanabaを通して、目標12「つくる責任つかう責任」についての取り組みに関して事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	目標12「つくる責任つかう責任」についての取り組みについての復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 7 回：Society 5.0の基礎・・・Society 5.0の基礎とその背景について理解できるようになる		
事前学修	授業やmanabaを通して、Society 5.0の基礎について事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	Society 5.0の基礎に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 8 回：Society 5.0と生活の変革について・・・高度情報社会における生活の変動について考察できるようになる		
事前学修	授業やmanabaを通して、Society 5.0と生活の変革について事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	Society 5.0と生活の変革に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 9 回：Society 5.0と社会の変革について・・・高度情報社会によってもたらされる人間社会の変動について理解できるようになる		
事前学修	授業やmanabaを通して、Society 5.0と社会の変革について事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	Society 5.0と社会の変革に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 10 回：Society 5.0とウェルビーイングの実現について・・・高度情報社会における健康社会の実現について考察できるようになる		
事前学修	授業やmanabaを通して、Society 5.0とウェルビーイングの実現について事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	Society 5.0とウェルビーイングの実現に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 11 回：食の未来を考える（1）・・・「昆虫食」についての基礎と課題点について説明できるようにする		
事前学修	授業やmanabaを通して、「昆虫食」についての基礎と課題点に関して事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	「昆虫食」についての基礎と課題点に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 12 回：食の未来を考える（2）・・・「代替肉」についての基礎と課題点について説明できるようにする		
事前学修	授業やmanabaを通して、「代替肉」についての基礎と課題点に関して事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	「代替肉」についての基礎と課題点に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 13 回：食の未来を考える（3）・・・「培養肉」についての基礎と課題点について説明できるようにする		
事前学修	授業やmanabaを通して、「培養肉」についての基礎と課題点に関して事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	「培養肉」についての基礎と課題点に関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度

第 14 回：総括：人類の未来と科学（１）・・・科学の発展だけが、我々人類の未来のために必要かどうかを考えることができるようになる		
事前学修	授業やmanabaを通して、科学の発展だけが、我々人類の未来のために必要かどうかについて事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	科学の発展だけが、我々人類の未来のために必要かどうかに関する復習課題などを行ない、manabaフォリオを通して提出する。	120分程度
第 15 回：総括：人類の未来と科学（２）・・・私たちの生活と科学の付き合い方について考察できるようになる。		
事前学修	授業やmanabaを通して、私たちの生活と科学の付き合い方について事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。	120分程度
事後学修	私たちの生活と科学の付き合い方に関する復習課題および最終レポート課題を行ない、manabaフォリオを通して提出する。	180分程度
試験等		
最終レポート		
試験のフィードバックの方法		
manabaを通してレポートなどの講評を行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
特になし。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
授業時にプリントを配布する。		
オフィスアワー		
月曜日4時限		
連絡先		
k4kobaya@post.ndsu.ac.jp		
留意事項		

わたしたちの社会と政治					単位数	2単位
授業コード	12412	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期	
担当者氏名	小田川 大典					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	1 講義					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
本授業は、政治学の基礎を学ぶことで、現代政治の諸問題を理解し、政治学の知見を踏まえた考え方を修得することを目的とする。授業では、課題図書レポート（1200字以上）を三回ほど課し、現代政治の諸問題について検討する機会を持つ。これらを総合し政治学分野における現代的課題を考察する。授業時間外でもmanaba folio で事前配布教材と課題（四択問題）を提示し自主学習を行う。						
アクティブラーニングの実施内容		発見学習				
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	現代政治と政治学について基本的な知識を身につける。				知識・技能	
2	現代政治の諸問題について自分の議論を組み立て、適切に文章化できる。				思考・判断・表現力	
3	現代の政治についての知識をもとに、社会のさまざまな問題に主体的に取り組むことができる。				思考・判断・表現力／主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	課題図書『動物農場』についてのレポート(1)（字数・段落分け・内容）（30%）				1／2	
2	課題図書『動物農場』についてのレポート(2)（字数・段落分け・内容）（30%）				1／2／3	
3	教科書『女性のいない民主主義』についてのレポート（字数・段落分け・内容）（40%）				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目			該当なし。			
実務経験の授業への活用方法						
該当なし。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
1. イン트로ダクションー「世界がもし100人の村だったら」						
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。					1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。					1 時間。
2. 政治学入門（前半）ージェンダー研究の知見を踏まえて						
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。					1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。					1 時間。
3. 政治学入門（後半）ージェンダー研究の知見を踏まえて						
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。					1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。					1 時間。
4. 「民主主義」の定義を問い直す（前半）ージェンダー研究の知見を踏まえて						
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。					1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。					1 時間。
5. 「民主主義」の定義を問い直す（後半）ージェンダー研究の知見を踏まえて						
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。					1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。					1 時間。

6. 第一回レポート解説—オーウェル『動物農場』について(1)		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
7. 「政策」は誰のためのものか（１）—福祉国家は男女平等を推進するか？		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
8. 「政策」は誰のためのものか（２）—「男性稼ぎモデル」はなぜ変えにくいのか？		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
9. 「政策」は誰のためのものか（３）—政策の変化はどのようにして生じるか？		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
10. 第二回レポート解説—オーウェル『動物農場』について(2)		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
11. 誰が、どのように「政治家」になるのか（１）—女性議員の割合がふえないのはなぜ？		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
12. 誰が、どのように「政治家」になるのか（２）—女性議員の割合がふえないのはなぜ？		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
13. 現代政治の諸問題(1)—国際政治入門		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。

14. 現代政治の諸問題(2)―政治哲学入門		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
15. 第三回レポート解説―前田健太郎『女性のいない民主主義』について		
事前学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください。	1 時間。
事後学修	この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。事後学習では授業の内容を復習し、解答してください。	1 時間。
試験等		
期末テストは実施しないが、三回のレポートを課す。manaba folio を使って提出すること。 1. オーウェル『動物農場』についてのレポート(1) (1200字以上) 2. オーウェル『動物農場』についてのレポート(2) (1200字以上) 3. 前田健太郎『女性のいない民主主義』についてのレポート (1200字以上)		
試験のフィードバックの方法		
コメントを manaba folio で発表する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
女性のいない民主主義／前田 健太郎／岩波書店／860／9784004317944／冊子版		
動物農場／ジョージ・オーウェル／岩波書店／780／9784003226247／冊子版		
<必携書> 『女性のいない民主主義』前田健太郎, 岩波新書 『動物農場：おとぎばなし』, ジョージ・オーウェル, 岩波文庫		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
オフィスアワー		
一、非常勤講師なのでオフィス・アワーは設けません。質問等は授業終了時か、下記のメールアドレスで受け付けます。 report.odagawa@gmail.com 二、授業についての情報はすべて manaba folio でお知らせします。		
連絡先		
report.odagawa@gmail.com		
留意事項		
(1)配布資料と小テストはすべて manaba folio に事前にアップロードします。教室で印刷資料を配布することはありませんので、事前にダウンロードして、プリントアウトして持参するか、スマホ、タブレット、ノートパソコン等に入れて持参してください。資料提示はすべて教室のモニターやスクリーンを用いて行ないます。 (2)出席確認用小テスト、ミニレポートの提出は、すべて manaba folio 上で行ないます。 (3)原則として対面で実施します。 (4)不正防止のため、課題図書の『動物農場』は、必ず川端訳の岩波文庫版を用いてください。		

わたしたちの社会と経済					単位数	2単位
授業コード	12432	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	山本 由美子					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
本授業では日本経済の事例を中心に、経済理論・政策について、ジェンダーの視点を用いて考えていきます。主なテーマは「授業予定」にある通り幅広い内容を扱い、教科書の内容に加えて、時事問題も取り上げます。一般的な経済知識を身につけられるだけでなく、経済学やそれに基づいた経済政策が私たちの日々の生活、そして学生の皆さんの人生設計にどのような影響を及ぼすかを一緒に考え、議論していきます。事例学習を通じて応用力を身につけることで社会・経済状況が理解できるようになります。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	1. 将来社会人になったときに必要となる経済の基礎知識を習得し説明できる。				知識・技能	
2	2. 社会問題や経済の話題を自分の身の回りのこととして認識し、分析することができる。				思考・判断・表現力	
3						
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	毎週の課題 85%				1/2	
2	期末レポート 15%				1/2	
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
イントロダクション（授業の概要、フェミニスト経済学への招待）						
事前学修	授業開始前に教科書を購入し、第1章から読み始めよう。				2時間	
事後学修	「授業の概要」のスライドに授業日程や課題提出日時が記されています。課題提出を忘れないよう各自スケジュール帳に記載するなどして管理してください。また、本日の講義スライドやノートを読み直し、新しく紹介された概念を復習してください。				1時間	
第1章「フェミニスト経済学への招待」						
事前学修	テキスト第1章を読む。				1時間	
事後学修	本日の講義スライドやノートを読み直し、新しく紹介された概念を復習してください。				約1時間	
第2章「アンペイドワーク」						
事前学修	テキスト第2章を読むこと。また、新聞を読み、特に社会・経済面のニュースに慣れ親しむこと。				約1時間	
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第3章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。				2時間	
第3章「世帯―世帯内意思決定と資源配分」						
事前学修	第3章を熟読する。				1時間	
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第4章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。				2時間	
第4章「生活時間―資源としての時間」						
事前学修	第4章を熟読する。				1時間	
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第5章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。				2時間	

第5章「ジェンダー統計」		
事前学修	第5章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第6章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第6章「労働市場－ペイドワークと格差」		
事前学修	第6章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第7章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第7章「マクロ経済－再生産領域を加える」		
事前学修	第7章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第8章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第8章「ジェンダー予算」		
事前学修	第8章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第9章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第9章「福祉国家^ジェンダー関係を形づくる」		
事前学修	第9章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第10章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第10章「金融－金融危機のジェンダー分析」		
事前学修	第10章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第11章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第11章「資本・労働力移動」		
事前学修	11章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第12章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第12章「貿易自由化」		
事前学修	12章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第13章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間

第13章「開発一連帯とエンパワーメント」		
事前学修	13章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返り（リフレクション）および、次週の授業範囲である第14章を熟読し、自分ごととして考えた時に感じたこと、気づいた点、あるいは内容に関する質問を300字程度でまとめmanaba folio で提出する。	2時間
第14章「環境・災害レジリエンスの構築」		
事前学修	14章を熟読する	1時間
事後学修	授業内容の振り返りをし、期末レポートを執筆・提出する。	3～5時間
試験等		
期末レポートでは、授業で学んだことをもとに、自分の気づき・リフレクションについて、1,000字程度(900～1,100字)でまとめる。毎週の課題で提出した内容を繰り返すのではなく、15週の授業を終えてのリフレクションをまとめる。印象に残った概念や理論など、教科書の内容にふれる時は該当箇所を引用(ページ数表示)すること。		
試験のフィードバックの方法		
Manaba folio からフィードバックを送信。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
フェミニスト経済学／長田 華子／有斐閣／3700／9784641166202／冊子版		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問を受け付ける。あるいはメール、もしくはmanaba folioで受け付ける。メールを送るときにはタイトルに「清心」と入れるとともに、本文に学科・学年・氏名を記入。		
連絡先		
yumikoyamamoto@okayama-u.ac.jp		
留意事項		
履修するにあたり特別な配慮を必要とする場合は事前に相談すること。 講義での説明等に質問がある場合は、遠慮せず尋ねること。		

人材育成論				単位数	2単位
授業コード	12925	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期、2025年度第2期
担当者氏名	西井 麻美、片山 裕之、富岡 美佳、豊田 尚吾、林 泰資				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	オムニバス				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
これからの持続可能な社会に向けたキャリアデザインや主権者としての自己形成に資する「社会（環境・経済など）」・「文化」・「教育・生涯学習・ESD」の分野にわたるホリスティックな学びを展開する。また、SDG4「質の高い教育をみんなに：全ての人への衡平な質の高い教育と生涯学習の機会を提供する」ことを意図して、大学におけるキャリア教育・リカレント教育として展開する。 なお、この授業は、複数学科の教員によりオムニバス方式で担当する。また、特別講義講師を招き、アナウンス業務に従事してこられた経験を踏まえて「伝えることの大切さ」を一緒に考えながら、「伝える技術」について専門的に指導してもらう。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	持続可能な社会に向けた「社会（環境・経済など）」・「文化」・「教育・生涯学習・ESD」の分野における人材育成の考え方について説明することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	「社会（環境・経済など）」・「文化」・「教育・生涯学習・ESD」の分野における人材育成の手法を身につけて、自らのキャリア形成に活かすことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	課題提出 60%			1／2	
2	授業への参加態度 40%			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
○助産師としての臨床経験を活かして、学校現場でライフスキル教育を実践してきたことから学生に生きる力をはぐくむための実践活動について伝える。 ○新制作協会会員、日本美術家連盟会員、岡山県展審査会員の経験から、絵画指導、鑑賞指導にあたる。 ○約30年間のアナウンス業務（大分の放送局で7年半、瀬戸内海放送で18年等）や青年海外協力隊員として2年、これらの経験から得た「伝えることの大切さ」、「伝え方」の極意、就職試験での面接やプレゼンテーションでも役立つ「伝える」技術を指導伝授する。 ○過去30年超、メーカー・シンクタンク・広告会社等にて、国内外の第一線級マーケティング・ブランディング・コンサルティング・デザイン業務に広範に関わる。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. オリエンテーション（西井麻美）					
事前学修	参加型学習を取り入れるため、授業外学習として資料を読み要点をまとめること。			約120分	
事後学修	オリエンテーションの内容を振り返り、各自のポートフォリオを作成する。マナバのスレッドに、授業で指示された課題を記入して送信する。			約120分	
2. 経済：ウェルビーイング（よい生活、よい生き方）の実現、潜在能力の発揮（豊田尚吾）					
事前学修	ウェルビーイングレポート（manabaの掲示板にPDFをアップロード予定）に目を通しておく			120分	
事後学修	復習をしたうえで課題に取り組む			120分	
3. 生涯学習・ESD：地域財から持続可能な社会を探ろう（西井麻美）					
事前学修	授業前にテーマに関連する事柄について、検索する。（新聞、ニュース、記事、図書・雑誌など）			約120分	
事後学修	授業で学んだことや気づきをポートフォリオにまとめる。			約120分	
4. 生涯学習・ESD：地域学を知ろう（西井麻美）					
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	
5. 生涯学習・ESD：文化観賞をしよう（西井麻美）					
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	

6. 美術：専門家が教える美術鑑賞（片山裕之）		
事前学修	授業のテーマに関する資料に当たる。	120分
事後学修	授業のまとめを行い、ノートに記載する。	120分
7. より良いコミュニケーションの秘訣：人前でしゃべる＜特別講義（小笠原ヒロ子・中村康人）＞		
事前学修	参加型学習を取り入れるため、コミュニケーションに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
8. より良いコミュニケーションの秘訣：メール＜特別講義（小笠原ヒロ子・中村康人）＞		
事前学修	参加型学習を取り入れるため、授業テーマに関する資料に当たり、意見をまとめる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
9. より良いコミュニケーションの秘訣：自己PR＜特別講義（小笠原ヒロ子・中村康人）＞		
事前学修	参加型学習を取り入れるため、自己PRについて考えをまとめる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
10. 食：産学連携による食品機能性研究とフードビジネスの新展開（林 泰資）		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	120分
事後学修	授業のまとめを行い、ノートに記載する。	120分
11. 持続可能な未来をつくるライフスキル：ライフサイクルから見た課題（富岡美佳）		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	120分
事後学修	授業のまとめを行い、ノートに記載する。	120分
12. 多様性を育む教育（富岡美佳）		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	120分
事後学修	授業のまとめを行い、ノートに記載する。	120分
13. ライフスキル教育の実践プログラム（富岡美佳）		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	120分
事後学修	授業のまとめを行い、ノートに記載する。	120分

14. 平和の未来デー（特別講義）		
事前学修	平和に関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
15. まとめ（西井麻美）		
事前学修	これまでの授業を振り返る。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、課題等を作成する。	約120分
試験等		
授業レポート・授業の中で使用するワークシート・課題レポート		
試験のフィードバックの方法		
留意点について解説する。（資料提示等）		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞		
『E S Dがグローバル社会の未来を拓く -SDG sの実現をめざして』西井麻美・池田満之・治部眞里・白砂伸夫編著、ミネルバ書房、2020年		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜参考書等＞		
『持続可能な開発のための教育（ESD）の理論と実践』西井麻美・藤倉まなみ・大江ひろ子・西井寿里編著、ミネルヴァ書房、2015年（初版第2刷） その他、授業中に適宜紹介する		
オフィスアワー		
授業終了後教室で質問等を受け付ける。またはマナバやメールによる質問等を受け付ける。		
連絡先		
西井：マナバ確定後、連絡用スレッドをマナバにたてる。確定前は、研究室（ND東棟3F）ドアのボックスヘメモ（A4サイズ、学籍番号・氏名、返信用メールアドレスを記載）を入れておくこと。 富岡：tomiokamika@gmail.com 豊田：toyota@m.ndsu.ac.jp 林：yhayashi@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
日程の関係上、授業開催順が変動する場合がある。 本授業は、社会教育主事課程の科目としても、シラバスを文部科学省に提出しているため、提出している内容で作成している。		

ことばと社会				単位数	2単位
授業コード	18035	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	高阪 香津美				
時間割備考	8/7（1-3限）, 8/25-28（1-3限）, 8/29（1限試験）2020年度以降入学生対象。2019年度以前入学生は教養科目。				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本授業では、多言語・多文化化する日本社会とことばの問題に着目し、日本に暮らす外国人がどのような場面でいかなる課題を抱えながら生活をしているのか、その課題をどうすれば解決することができるのかについて主体的に学び、考えます。また、このテーマは、今、この瞬間も議論がなされ、動いているものであるため、常に、社会の動向に目や耳を傾けるべく、ニュースや新聞記事も扱います。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	物事を批判的に捉えることができる。			思考・判断・表現力	
2	多文化化する日本社会で生じる様々なことばの事象を説明することができる。			知識・技能	
3	授業内容や自らが調べたことをつなげあわせ、課題解決のための方法を考えることができる。			思考・判断・表現力	
4	自分の身の回りで起こっている事柄に関心を持つことができる。			主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小テスト（20%）			2/4	
2	コミュニケーション問題に関するグループディスカッションの成果発表（20%）			1/3	
3	日本人住民と外国人住民がともに学ぶ活動案の作成課題（20%）			1/3	
4	期末試験（40%）			1/2/3/4	
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 本授業の進め方、評価、課題に関する説明、日本語教育に関連する試験の紹介、教授者の自己紹介					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
2 日本に暮らす外国人、多言語・多文化化する岡山県の現状					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
3 外国人住民が抱えることばの問題					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
4 言語サービス					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
5 言語景観					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	

6 日本語非母語話者とのコミュニケーション（グループディスカッション）		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
7 「やさしい日本語」に関する基礎知識と実践		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
8 コミュニティ通訳		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
9 バイリンガリズム		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
10 外国人児童・生徒に対する日本語教育		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
11 外国人児童・生徒に対する母語・継承語教育		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
12 日本の学校における外国語教育		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
13 日本人住民と外国人住民がともに学ぶ活動案の発表（フィードバックと共有）		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）

14 多文化共生のための活動を行うゲストスピーカーによる活動内容報告		
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回30分（目安）
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回30分（目安）
15 今学期の総復習		
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回30分（目安）
事後学修	第16回目に期末試験を実施するため、これまでに学習した内容すべての復習が必要となる。	期末試験に向けた総復習：3時間（目安）
試験等		
16回目に筆記試験を行う。		
試験のフィードバックの方法		
小テストについては、実施直後に答えあわせと解説を行う。 期末試験については、模範解答をmanabaで掲示する。 その他の提出物については、授業内でフィードバックを行い全体で共有する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
教科書は用いず、資料を配布する。 参考図書については、適宜、授業中に紹介する。		
オフィスアワー		
質問は随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
katsumikosaka@hotmail.com		
留意事項		
・身の回りで起こっている事象に関心を持ち、常にアンテナを張っておくこと。 ・小テストをやむを得ず欠席する場合、可能な限り、事前に理由とともに担当者に連絡をすること。難しい場合は事後でもかまわないので、理由とともに翌日までに担当者に連絡すること。連絡があった場合に限り、別日に小テストを実施するかどうか理由により判断する。なお、別日に小テストを受けることが認められた場合でも、得点×0.8とする。		

インクルーシブを考える				【単位数		2単位					
授業コード		18037		科目ナンバリング		150Z0-1234-o2		開講年度学期		2025年度第2期	
担当者氏名		青山 新吾									
時間割備考											
授業形態（主）		1 講義									
授業形態（副）		1 講義									
担当形態		単独									
研究分野（大学院）											
本授業の概要											
インクルーシブということばを耳にすることが増えているのではないだろうか。多様性の時代と言われる現在、インクルーシブは大切な考え方と考えられる。そこで、リアルなエピソード語り、映像、当事者との「対話」等で、具体的に多様な人の有り方を共有しながら、インクルーシブの意味を一緒に考えていきたい。また、manabaやGoogleフォーム等を活用し、受講者同士の考えを緩やかに交流することで、それぞれの考えを深めていけるように進めていきたい。											
アクティブラーニングの実施内容				グループ・ディスカッション							
到達目標										対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1		園や学校、地域で生きる多様な人々を知る。								知識・技能	
2		多様な人々の背景にあることや、その生きづらさを理解できる。								知識・技能／思考・判断・表現力	
3		生きづらさを生み出している社会構造や意識について理解し、自分のことばで表現できる。								知識・技能／思考・判断・表現力	
4		多様な人々を包摂したすべての人と人が共に生きるかたちを目指した関係性や教育、社会における取組を理解し、その意味を自分のことばで表現できる。								知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5											
成績評価の基準										対応する到達目標の番号	
1		授業への取組度（毎回の振り返りの記述） 40%								1／2／3／4	
2		レポート（期間中に提出） 30%								1／2／3／4	
3		最終レポート 30%								1／2／3／4	
4											
5											
実務経験のある教員による授業科目				【実務あり							
実務経験の授業への活用方法											
学校教員や教育行政の経験を踏まえ、研究協力や協議会等でコラボレーションしている地域や園・校、障害のある当事者やその保護者等との「対話」から得られた最新知見を具体的なエピソード語りで紹介することで、理論とリアルな状況を重ね合わせた授業を展開する。											
日本語以外の言語による授業											
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間							
1 インクルーシブと私											
事前学修		インクルーシブということばへのイメージについて振り返るとともに、関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。								2 時間	
事後学修		インクルーシブについて関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。								2 時間	
2 教室や社会の中の多様性											
事前学修		教室や社会の中の多様性について振り返るとともに、関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。								2 時間	
事後学修		教室や社会の中の多様性について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。								2 時間	
3 「やさしいどうして？」のまなざし～セサミストリートに登場する人たち～											
事前学修		セサミストリートについて関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。								2 時間	
事後学修		セサミストリートについて関連サイトにアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。								2 時間	
4 「やさしいどうして？」のまなざし～吃音のある人の暮らしと思い～											
事前学修		吃音について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。								2 時間	
事後学修		吃音や吃音のある人の暮らしについて関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。								2 時間	
5 「やさしいどうして？」のまなざし～ASD（自閉スペクトラム症）のある人の暮らしと思い～											
事前学修		ASDについて関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。								2 時間	
事後学修		ASDやASDのある人の暮らしについて関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。								2 時間	

6 障害のある当事者との「対話」		
事前学修	障害のある当事者からの発信について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	障害のある当事者からの発信について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。	2 時間
7 障害のある方と共に生きる家族との「対話」		
事前学修	障害のある方と共に生きる家族について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	障害のある方と共に生きる家族について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。	2 時間
8 マイノリティとマジョリティ		
事前学修	マイノリティとマジョリティについて関連サイトにアクセスすることで、基礎的事項を押さえておく。	2 時間
事後学修	マイノリティとマジョリティについて関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。	2 時間
9 学校や地域社会での「当たり前」を考える		
事前学修	学校や地域社会にの中で「当たり前」とされていること疑問を感じることにについて関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	学校や地域社会における「当たり前」について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深め	2 時間
10 人と人が共に生きるかたちを求めて（１）～イエナプラン校の挑戦～		
事前学修	イエナプランやイエナプラン校の取組について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	イエナプランやイエナプラン校の取組について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深め	2 時間
11 人と人が共に生きるかたちを求めて（２）～医療的ケアの必要なえみりちゃんと一緒に学ぶ～		
事前学修	医療的ケアを必要とする子どもの生活や学校教育について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	医療的ケアを必要とする子どもの生活や学校教育について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整	2 時間
12 人と人が共に生きるかたちを求めて（３）～映画から考えるインクルーシブ～		
事前学修	インクルーシブを考えることにつながる映画について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	インクルーシブに関連する映画について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。	2 時間
13 人と人が共に生きるかたちを求めて（４）アーティストから考えるインクルーシブ～		
事前学修	インクルーシブを考えることにつながるアーティストの作品について関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2 時間
事後学修	インクルーシブに関連するアーティストの作品について関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理	2 時間

14 DE&Iを考える		
事前学修	DE&Iについて関連サイトにアクセスすることで、興味関心を持てるようにする。	2時間
事後学修	DE&Iについて関連サイトや文献にアクセスするとともに、授業内で紹介する受講生のコメントや関連トピックについて各自で追究し、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。	2時間
15 まとめ～インクルーシブとは何だろう？～		
事前学修	これまで学び考えてきたインクルーシブに関連する文献、関連サイトを見直すことで、自分の考えを整理する。	2時間
事後学修	これまで学び、考えてきたインクルーシブについて、manabaのレポートフォームに自身のことばで記述することを通して学びを整理し、深める。	2時間
試験等		
最終レポートを提出する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書> 『インクルーシブ教育ってどんな教育？』 青山新吾編著 学事出版 『インクルーシブな教育と社会』 原田琢也・伊藤駿 ミネルヴァ書房 『差別のない社会をつくるインクルーシブ教育 誰のことばにも同じだけ価値がある』 野口晃菜・喜多一馬 学事出版		
オフィスアワー		
授業中に指示する。メール等での質問・相談は随時受け付ける。		
連絡先		
saoyama@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
多様な人の在り方を、リアルなエピソード語り、映像、当事者との「対話」を通して一緒に考えていく授業である。リアルタイムのペア・トークなどの交流に加え、manabaやGoogleフォーム等を活用しながら受講者同士が緩やかに交流し、人と人が共に生きるかたちを一緒に探していきたい。		

キャリアデザイン基礎		単位数	2単位
授業コード	18040	科目ナンバリング	150Z0-1200-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	藤原 久美子		
時間割備考			
授業形態（主）	1 講義		
授業形態（副）	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野（大学院）			
本授業の概要			
社会の現状、業界・職業・働き方を理解し、自分がどんな人間か、将来どんな生き方をしたいのか、そのためにどのような大学生活を送るのかを考えるきっかけをつかんでいただければと思います。			
アクティブラーニングの実施内容		発見学習	
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	自分自身を理解し、他者に対して効果的に伝えることができる	知識・技能	
2	社会の現状を知り、具体的なキャリアをイメージできる	思考・判断・表現力	
3	今後の課題を見つけ、大学生活について目標を持つことができる	主体性	
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー 70%	1/2/3	
2	期末レポート 30%	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目		実務あり。	
実務経験の授業への活用方法			
本学キャリアサポートセンターでの実務経験をいかして、学生と企業等、両者の視点に立った授業展開を行う。			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1 オリエンテーション ・「キャリア」とは？ ・本学卒業生の進路について ・ゲストスピーカー（本学4年生）の話			
事前学修	「キャリア」の意味について自分で調べ、説明できるようにしておく。	60分	
事後学修	自分の言葉で「キャリア」を説明する。ゲストスピーカーの話についてのレポート。	60分	
2 私たちが学ぶ「大学」とは？			
事前学修	「大学」という教育機関について調べる。	60分	
事後学修	自分の言葉で「大学」を説明する。授業で出された課題レポート	60分	
3 自分を「知る」とは？～自己理解とキャリアについて考える～			
事前学修	自分の長所・短所について考える。	30分	
事後学修	自分について、長所・短所を含めて説明する。新聞記事についてのレポート	90分	
4 キャリアサポートセンターの紹介、インターンシップについて			
事前学修	インターンシップについて調べる。	60分	
事後学修	今後のインターンシップについて考える。キャリアサポートセンターについて調べる。	60分	

5 業界・企業を知る		
事前学修	業界・企業について自分で調べる。	60分
事後学修	学んだ業界・企業についての感想	60分
6 多様な仕事（職業）についての感想。新聞記事についてのレポート		
事前学修	職業について自分で調べる。	30分
事後学修	学んだ職業についての感想。新聞記事についてのレポート	90分
7 多様な働き方について		
事前学修	「働く」ということについて調べる。	60分
事後学修	自分にとって「働く」とは	60分
8 ゲストスピーカー（日本航空株式会社） 「ホスピタリティについて」		
事前学修	航空業界および関連する業界について調べる。	60分
事後学修	講義についてのレポート	60分
9 ゲストスピーカーの講義について考える		
事前学修	ゲストスピーカーの講義についての感想を説明できるようにしておく。	60分
事後学修	ゲストスピーカーの講義で得られたものを考える。	60分
10 自分の将来を考えよう		
事前学修	卒業後の進路について考えてみる。	60分
事後学修	自分の希望する進路について考え、それについての障壁・味方を考える。	60分
11 気持ちよく働くためには		
事前学修	求人票について調べておく。	60分
事後学修	働くことに関しての「決まり」を説明できるようにする。	60分
12 キャリアと自己理解		
事前学修	なぜ、働く上で自己理解が必要なのか考える。	60分
事後学修	求人票と自己理解について考える。	60分
13 自己アピールをする		
事前学修	自分の「強み」について説明できるようにしておく。	60分
事後学修	自己アピールについてのレポート	60分

14 これからの学生生活について		
事前学修	これまでの学生生活を振り返っておく。学修計画どおりか、学生生活で何を得たか。	60分
事後学修	学生生活についてのレポート	60分
15 まとめと振り返り		
事前学修	今後の学生生活の目標を考える。	30分
事後学修	学生生活についてのレポート	60分
試験等		
期末レポートを提出		
試験のフィードバックの方法		
リアクションペーパー等でフィードバックを行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
特になし。授業で資料を配付予定。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
特にない。必要に応じて資料配布。		
オフィスアワー		
授業についての質問等は、授業後またはメールで受け付けます。		
連絡先		
fujiwara@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
事前事後学習等で新聞を読んでもいただきます。購読していない人は、図書館・キャリアサポートセンターを利用してください。		

キャリアデザイン発展				単位数	2単位
授業コード	18050	科目ナンバリング	150Z0-2300-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	熊井 麻千子				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本授業では、国際化や技術革新の波の中で激変している社会の現実を広く知るとともに、その時代を生き抜くキャリアを支える意識・知識・行動の本質を学ぶ。教科書的に用意された答えを知るのではなく、正解のない問題に対して自分で考え、判断し、責任を持って答えを出すことの厳しさと面白さを知り、将来に渡るキャリアデザインへの仮説を形成する。授業の中では具体的な事例への考察を繰り返し、「キャリアを描く（デザインする）」とはどういうことか、に気づき、「キャリア」を自らの責任で描き、自立して生きるための力を強化する。					
授業形式は講師による講義を基本とするが、実践的な学びを獲得するために、社会人としての課題解決を支える技術を実技について伝授・演習することもある。また、経験豊富な社会人をゲストとして招聘し、その仕事内容や課題認識、キャリアへの考え方等を直接学ぶ機会を複数回設けるほか、生徒同士のディスカッションによって他者との協働によるアクティブな学習スタイルを随時組み込んでいく。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	キャリア形成の基本要素について理解している。			知識・技能	
2	キャリア形成の前提となる社会環境の変化について未来を洞察し、仮説をもつことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
3	他者の考えに対して謙虚に耳を傾け、尊重しながら受け止めたうえで、自らの意見を的確に表明することができる。			思考・判断・表現力／主体性	
4	正解がない課題に対して自ら考え、判断し、仮説のもとで行動を積み重ねることができる。			思考・判断・表現力／主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー（30%）			1／2／3	
2	期末レポート（70%）			1／2／3／4	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
20年を超える企業での多様な職務経験（企画・営業・管理・人事等）や人的リソースを活かした講義を実施する。経営とキャリアの視点に立ち、変化し続ける社会や現代社会のあり方を考え、キャリア形成の本質にアプローチする。学生がその理解のもとで自律的にキャリアと向き合い、創造し、デザインすることを促していく。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. キャリアデザイン概論と本講義における学びの構造					
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。				
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。				30分～1時間程度
2. 本授業で駆使する思考法と情報伝達スキル（解説と練習）					
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。				
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。				30分～1時間程度
3. キャリアデザインのための自己理解Part1. 「事実」の振り返りと意味づけ					
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。				
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。				30分～1時間程度
4. キャリアデザインのための自己理解Part2. キャリアアンカーの探索					
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。				
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。				30分～1時間程度

5. キャリアデザインのための自己理解Part3. 自分の強み・弱みの把握と言葉化		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
6. キャリアデザインのための社会洞察Part1. 社会環境を読み解く視点		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
7. キャリアデザインのための社会洞察part2. 価値を失わない「仕事」		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
8. キャリアデザイン事例講義（1）（社会人ゲストによる講演）		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
9. 8の講演を踏まえたディスカッション		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
10. キャリアを支える「生きる力」への構造的理解		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
11. キャリアデザイン事例講義（2）（社会人ゲストによる講演）		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
12. 11の講演を踏まえたディスカッション		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度
13. キャリアデザイン事例講義（3）（社会人ゲストによる講演）		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分～1時間程度

14. 13の講演を踏まえたディスカッション		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分~1時間程度
15. 本講義全体の振り返りと自らのキャリアデザイン * ゲストの都合により講義が前後する可能性がある		
事前学修	講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。	
事後学修	各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する（リアクションペーパー記入を含む）。	30分~1時間程度
試験等		
最終授業終了後にレポートを提出する。		
試験のフィードバックの方法		
manabaの掲示板等にレポート全体の傾向を踏まえたコメントを掲載することでフィードバックを行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必要に応じて資料配布、manabaでの配信によって対応する。		
オフィスアワー		
質問はメールで受け付ける。		
連絡先		
s8358@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
ゲストとして招聘する社会人の方々は学生への応援の気持ちで多忙な中協力してくださっている。そのことを忘れず、一人の大人としての礼節と感謝の気持ちをもって話を受け止め、少しでも多くのことを学んで欲しい。 * ゲストスピーカーの都合により講義内容が前後する可能性がある		

産業・組織心理学			[単位数]		2単位
授業コード	18055	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	中島 誠				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
産業・組織心理学を学ぶことにより、働くことについて理解し、働く人への支援が出来るようになることを目的とする。 1 職場における問題に対して必要な心理に関する支援 2 組織における人の行動					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	働くということを複数の視点から述べる事が出来る。			知識・技能	
2	複数の視点から働く人への支援が出来る。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	中間テスト(30%)			1	
2	期末試験(70%)			1／2／3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 産業・組織心理学の意義と方法					
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。			20分	
事後学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。			20分	
2 産業組織とは					
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。			20分	
事後学修	教科書、資料の振り返り			20分	
3 組織における人間行動…仕事へのモチベーションとリーダーシップ					
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。			20分	
事後学修	教科書、資料の振り返り			20分	
4 働くことと法(1)					
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。			20分	
事後学修	教科書、資料の振り返り			20分	
5 働くことと法(2)					
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。			20分	
事後学修	教科書、資料の振り返り			20分	

6 ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
7 産業臨床心理学の視点から		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
8 産業保健の視点から、中間テスト		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。 これまでのまとめ(中間テスト対策)	60分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
9 中間テストのフィードバック、従業員支援プログラム(EAP)		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り 中間テストの振り返り	30分
10 組織へのコンサルテーションと心理教育		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
11 復職支援		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
12 再就職・障害者就労における心理支援		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
13 職場でのトラウマケア		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分

14 産業心理臨床における心理療法1…認知行動療法など		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
15 産業心理臨床における心理療法2…ブリーフセラピー		
事前学修	「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
試験等		
中間テスト…第8回講義の後半 期末試験…第16回		
試験のフィードバックの方法		
中間テスト…第9回講義で行う 期末試験…模範解答の掲載		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
産業・組織心理学／新田 泰生／遠見書房／2600／9784866160702／冊子版		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
オフィスアワー		
質問は授業後に教室で受ける 質問はメールでも受ける		
連絡先		
osbss2024@gmail.com		
留意事項		